

平成 28 年度内閣府 地震・津波防災訓練 【広島県坂町】

実施報告書
(概要版)



広島県坂町について

坂町（さかちょう）は、広島市と呉市との間に位置し、美しい緑に囲まれ、穏やかな瀬戸内海に面した豊かな自然環境に恵まれています。

人口は13,096人、町域面積15.69km²で、そのうち約50%が山林で占めています。

健康でかつ心豊かな生活を目指す「悠々ウォーキングのまち宣言」があります。

現在、坂町では、「青い海・緑の山・キラリと光る未来へ ーともに歩む坂町ー」を町の長期総合計画のまちづくりのテーマに掲げ取組を行っています。

また、総合防災訓練や大雨土砂災害・地震津波災害の避難訓練を町全体で継続的に実施する等、様々な防災対策に取り組んでいます。



地図出典：国土地理院

訓練概要

- 訓練想定：10月30日（日）午前8時30分に、南海トラフ巨大地震が発生し、坂町において震度5強の揺れを観測。町の沿岸部では、高さ約5mの津波の到達が予想されることから、坂町は、地震発生後ただちに災害対策本部を設置するとともに、住民に対しJ-ALERTによる町内緊急放送等により津波からの避難を呼びかけた。
 - 実施日時：平成28年10月30日（日）8：30～11：30
 - 第1部（情報伝達訓練、シェイクアウト訓練、津波避難訓練） 8：30～9：30
 - 第2部 災害時安否確認訓練 9：30～10：00
 - 避難所開設訓練、救急教室、 10：10～11：30
 - 救援物資の仕分け訓練
- ※第2部のみ、町内3か所の避難所にて同時に実施
- 主催：内閣府、坂町
 - 参加者数：2,673人（第1部）、840人（第2部）（※参加機関を含む。）
 - 参加機関：町内16地区の住民福祉協議会、坂小学校、横浜小学校、小屋浦小学校、坂中学校、坂町内企業、坂町消防団、広島市消防局、海田警察署、広島県警察学校、気象庁広島地方気象台

当日の訓練内容

08:30～ シェイクアウト訓練、津波避難訓練【第1部】

坂町全域を対象に実施している避難訓練に基づき実施した。

地震の発生により、各自の居場所において地震の揺れから身を守る安全確保行動を1分程度実施し、その後、最寄りの避難場所へ移動し、災害時の避難行動について確認を行った。

▼シェイクアウト訓練



▼津波避難訓練



09:30～ 災害時安否確認訓練【第2部】

避難場所から町内3つの避難所（サンスターホール、坂中学校、小屋浦小学校）にて、避難した住民を受付する訓練（災害時安否確認）を実施した。

併せて、会場内に気象台が作成した地震や津波に関連するパネルや防災用品等を設置し、参加者への普及・啓発を図った。

▼避難所の開設（受付）



▼気象台の展示品



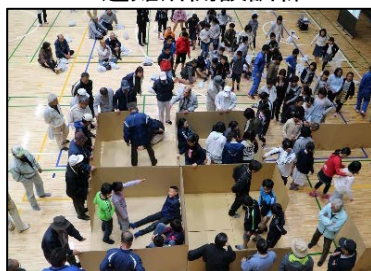
10:10～ 避難所開設訓練、救急教室 救援物資の仕分け訓練（防災・啓発グッズの提供）【第2部】

各会場にて、被災後の避難生活に必要な道具や被災者の役割等を学ぶために、段ボールを用いた参加・実演型の避難所開設訓練とともに、消防の協力を得て、災害時の負傷等の際の応急救護手法を学ぶ救急教室を実施した。

また、訓練で準備した啓発資材等を救援物資と見立てて、町職員と中学校生徒を中心に、様々な物資を仕分け、参加者に配布する訓練を実施した。

訓練全体を通じて、参加者が津波災害時の一連の行動を体感・学習して訓練を終了した。

▼避難所開設訓練



▼救急教室



▼救援物資の仕分け



▼救援物資の提供

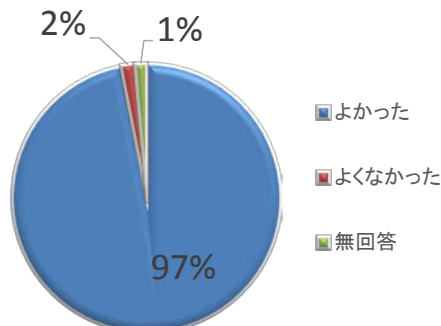


アンケート結果

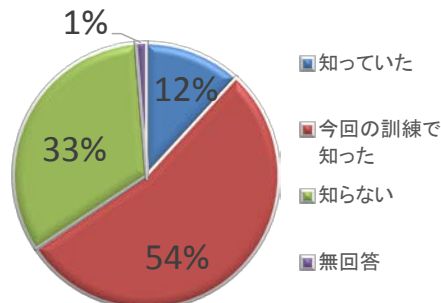
住民の方々の防災意識や津波避難対策への取り組み状況等を把握するため、アンケート調査を実施した。(回答数：431人)

問 訓練に参加して、どう思いましたか？

(回答数：431人)

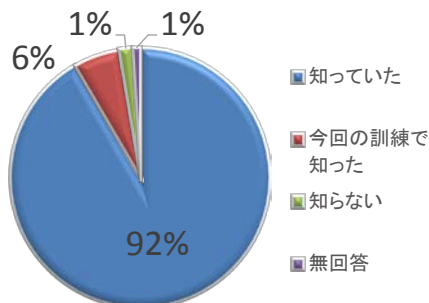


問 11月5日が「津波防災の日」であることを知っていますか？(回答数：431人)



問 自宅・学校からの避難経路を知っていますか？

(回答数：431人)



訓練の評価

訓練当日は、天候に恵まれ、地域住民や児童・生徒等を合わせて2,673名が第1部の訓練に、840名が第2部の訓練に参加し、終始熱心かつ真剣な態度で訓練等に取り組んだ。

訓練実施後、地区の代表者や小中学生を対象にアンケートを実施し、その結果から、本訓練は以下のように評価できる。

- 今回は自助・共助の強化を念頭に、「住民が主体となって取り組む訓練」として構築した。準備過程では、行政のみでなく町内の多くの団体と協力して関係機関会議を開催し、今後につながる関係性の構築ができた。
- 訓練内容は、地震発生時の身体防御から津波避難、被災後の避難所開設といった一連の流れを体験する形となり、災害時の行動をわかりやすく学習できる機会となった。
- 地域住民や児童・生徒の意見から、「参加してよかった」「またやりたい」などの声もあり、多くの満足度を得ることができた。

一方で、次のような課題があげられる。

- 第2部の各種訓練については、初実施でもあり町職員により司会進行を行ったが、各学校から「児童や生徒に深く関わらせたい、学ばせてほしい」との意見もあった。今後の訓練においては、多様な人々が主体的に運営・参加できる場面や機会を積極的に設けていくことが必要である。
- 坂町ではこれまでも継続的に防災訓練を実施しており、今回新たに実施した内容を踏まえ、徐々にステップアップして工夫を行うことで、多様な主体の連携による対応など災害時の実効性を高めていくことが必要である。